

令和5年度（令和4年度事業分）
菊陽町教育委員会点検・評価報告書

菊陽町教育委員会

目 次

1	趣旨	・・・ P.1
2	点検・評価の対象	・・・ P.1
3	菊陽町教育委員会の状況について	・・・ P.2
4	教育委員会の活動状況について	・・・ P.3
5	点検・評価について	・・・ P.7
6	菊陽町教育委員会外部評価委員会委員名簿	・・・ P.25
7	菊陽町教育委員会外部評価委員会開催状況	・・・ P.25

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、菊陽町教育委員会では、権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、教育行政の課題や取組みの方向性を明らかにし必要に応じ、適時適切に新しい課題に対する検討を進め新規事業への積極的な取り組みや継続事業の改善を図ります。

2 点検・評価の対象

菊陽町教育大綱（教育振興基本計画）の4つの基本施策を効果的にかつ着実に実施するため、令和4年度の取組の進捗状況について点検・評価します。今回は、指標を定めた取組事項について選定し評価を行います。

3 菊陽町教育委員会の状況について

(1) 教育委員一覧（令和4年4月1日現在）

役 職	氏 名	任 期
教育長	上川 幸俊	令和 4年 4月1日～令和 7年 3月31日
教育長職務代理者	紫垣 徹	平成31年 1月1日～令和 4年 9月30日
委員	坂田 和明	令和 2年10月1日～令和 6年 9月30日
委員	市原久美子	令和 3年10月1日～令和 7年 9月30日
委員	天野 智子	令和 元年10月1日～令和 5年 9月30日

(2) 菊陽町教育委員会事務局職員の状況 {令和4年4月1日現在（人）※正職員のみ}

課 名 等	職員数
教育部長	1
学務課（指導主事1名含む）	8
施設整備課	6
生涯学習課（ふれあいの森研修センター） 出向1名含む	6
公民館（南部町民センター、武蔵ヶ丘コミュニティセンター含む）	2
図書館	4
人権教育・啓発課	3
合 計	30

(3) 小中学校の児童生徒数及び職員数 {令和4年5月1日現在（人）}

学校名	児童生徒数	県費教員数	町費職員数
菊陽中部小学校	834	58	22
菊陽南小学校	92	15	7
菊陽北小学校	491	31	15
武蔵ヶ丘小学校	301	26	9
菊陽西小学校	893	54	22
武蔵ヶ丘北小学校	471	29	16
菊陽中学校	635	44	19
武蔵ヶ丘中学校	869	57	22
合 計	4,586	314	132

※ 他に、適応指導教室（すぎなみ教室）4名、スクールソーシャルワーカー3名、スクールカウンセラー1名、学校教育アドバイザー2名を町費会計年度任用職員として雇用しています。

4 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会議の構成

ア 会議の種類

定例会（各月1回開催）、臨時会（必要に応じて開催）

イ 構成員

教育長、教育委員4人、教育部長、学務課長、施設整備課長、生涯学習課長兼中央公民館長、図書館長、人権教育・啓発課長、学務課長補佐兼指導主事、学務課総務係長、学務課学校教育係長

(2) 会議の運営状況

令和4年度における菊陽町教育委員会の定例会の主な活動状況は、次のとおりです。

開催日	会議区分	主な議題等
令和4年 4月26日	1回定例教育委員会会議	1 令和4年度菊陽町教育委員会取組の重点等について 2 令和4年度菊陽町教育委員会年間計画について 3 令和4年度主任等の任命について 4 菊陽町文化財保護委員の委嘱について 5 ふれあいの森研修センター運営委員会委員の委嘱について 6 区域外就学願いについて
令和4年 5月24日	2回定例教育委員会会議	1 令和4年度学校運営協議会委員の委嘱について 2 武蔵ヶ丘コミュニティセンター運営委員会委員の委嘱について 3 南部町民センター運営委員会委員の委嘱について 4 区域外就学願いについて
令和4年 6月21日	3回定例教育委員会会議	1 菊陽町就学援助支給規則の一部を改正する規則の制定について 2 菊陽町図書館図書管理システム更新における図書館の臨時休館について 3 令和4年度菊陽町社会教育委員の委嘱について 4 令和4年度菊陽町公民館運営審議会委員の委嘱について 5 区域外就学願いについて

開催日	会議区分	主な議題等
令和4年 7月25日	4回定例教育委員会会議	1 区域外就学願いについて
令和4年 8月23日	5回定例教育委員会会議	1 総合体育館開設準備室設置要綱について 2 菊陽町教育委員会外部評価委員の委嘱について 3 令和4年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 4 区域外就学願いについて
令和4年 9月20日	6回定例教育委員会会議	1 教職員の不祥事に伴う処分について 2 令和4年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 3 区域外就学願いについて
令和4年10月25日	7回定例教育委員会会議	1 区域外就学願いについて
令和4年11月22日	8回定例教育委員会会議	1 令和5年菊陽町成人式開催に伴う図書館の臨時休館について 2 令和4年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 3 区域外就学願いについて
令和4年12月20日	9回定例教育委員会会議	1 教育支援委員会の答申について 2 令和4年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 3 区域外就学願いについて
令和5年 1月24日	10回定例教育委員会会議	1 菊陽町就学援助支給規則の一部を改正する規則の制定について 2 いじめ防止基本方針の改定（案）について 3 教育支援委員会の答申（追加分）について 4 菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について区域外就学願いについて 5 令和4年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（入学予定者分）について 6 区域外就学願いについて
令和5年 2月25日	11回定例教育委員会会議	1 菊陽町教育委員会点検・評価報告書について 2 令和4年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 3 区域外就学願いについて

開催日	会議区分	主な議題等
令和5年 3月20日	1 2 回定例教育委員会会議	1 菊陽町就学援助支給規則の一部を改正する規則の制定について 2 令和5年度菊陽町社会教育指導員の任命について 3 令和5年度菊陽町地域人権教育指導員の任命について 4 令和4年度菊陽町就学援助支給対象者の決定（追加分）について 5 区域外就学願いについて

(3) 菊陽町教育委員会学校訪問等の実施

ア 訪問の内容・目的

学校施設の状況の視察及び各学級の授業を参観することで、学校教育における指導上の主な問題点等の解明に努め、指導等を行うことにより教育の推進の援助を行います。

イ 町内小中学校への訪問状況は、次のとおりです。

訪問日	訪問した学校
令和4年 6月20日	総合訪問 菊陽中部小学校
令和4年 6月27日	町学校訪問 武蔵ヶ丘小学校、武蔵ヶ丘北小学校
令和4年 6月28日	町学校訪問 菊陽西小学校、武蔵ヶ丘中学校
令和4年 6月29日	町学校訪問 菊陽北小学校
令和4年 9月 6日	総合訪問 武蔵ヶ丘小学校
令和4年11月 2日	町学校訪問 菊陽南小学校

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、縮小して学校訪問を行いました。

(4) その他の活動

ア 各行事への出席

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事の中止、規模縮小などを講じたため例年より出席状況が減少しています。

イ 出席状況

令和4年度における各行事への主な出席状況は、次のとおりです。

期日	内容	委員の参加人数
令和 4年 4月 1日	教職員辞令交付式	3人
令和 4年 4月 4日	新規採用教職員就任式	3人
令和 4年 4月11日	小中学校入学式	4人
令和 4年 7月27日	教職員全員研修会	1人

令和 4年 8月 9日	菊陽町子ども議会	4人
令和 4年10月21日	菊池郡市中体連駅伝大会	2人
令和 4年10月27日	小中学校音楽会（武蔵ヶ丘中校区）	1人
令和 4年11月 9日	小中学校音楽会（菊陽中校区）	2人
令和 4年11月18日	菊陽中部小学校 研究発表会	2人
令和 5年 2月24日	初任者実践発表会	4人
令和 5年 2月24日	教育論文表彰式	4人
令和 5年 3月 3日	中学校卒業式	1人
令和 5年 3月23日	小学校卒業式	4人
令和 5年 3月31日	退職者辞令交付式	4人

(5) 総合教育会議の開催について

ア 期日 令和5年2月21日

イ 協議事項

① 政策提言集72の具体策のうち教育委員会に関する事項について

(6) こども総合相談室について

令和3年11月に、こども総合相談室が開設され、こどもをサポートするための空間であることを目標に、庁内関係各課、関係機関と連携し、協働で問題解決を行っています。

こども総合相談室の専門家が小・中学校を定期巡回し、学校単独では支援が困難な複合化・複雑化したケースや教育的支援が必要な場合は、必要に応じて、こども総合相談室と教育委員会とが連携し、支援を行っています。

5 点検・評価について

- 整理番号 1～3 学務課
- 整理番号 4、5 施設整備課
- 整理番号 6 中央公民館
- 整理番号 7、8 生涯学習課
- 整理番号 9 スポーツ振興課
- 整理番号 10、11 図書館
- 整理番号 12 人権教育・啓発課

事務事業評価表

整理番号	1
------	---

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 学務課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取組み事項	①	子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実(P.8)
		ア	「熊本の学び推進プラン」を生かした各学校の取組の積極的な支援
		イ	小学校における教科担任制や少人数指導・習熟度別指導などの実施

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価	
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目標	実績	達成率		
自己評価	県学力調査(町平均と県平均の差) (P.9)	小 国語	+3	2.4	79.2%	B
		小 算数	+3	0.7	23.3%	E
		中 国語	+3	3.6	120.0%	A
		中 数学	+3	5.1	170.0%	A
		中 英語	+5	5.2	103.0%	A

A 達成できた(100%以上) B まあまあ達成できた(80%~) C 半分程度達成できた(60%~)
D あまり達成できなかった(40%~) E 達成できなかった(0%~)

小3	国語	1.1	算数	-3.0
小4	国語	2.3	算数	2.2
小5	国語	0.9	算数	-0.2
小6	国語	5.2	算数	3.8

中1	国語	4.3	数学	8.6	英語	7.1
中2	国語	2.9	数学	1.6	英語	3.2

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

ア①子ども達の学びの側から「構想する」授業実践		期 間	~			
概要	公立小・中学校教職員の教育研究意欲を高め、教員の資質向上を図るため、町の教育の振興を図る。 ① 町学力充実研究指定校 ② 町教育委員会教育論文	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
令和4年度の取組内容	町学力充実研究指定校では、2年目を迎えた中部小学校が11月に研究発表会を行い、研究の成果を町内の学校へ普及した。また、町教育委員会教育論文については、個人論文33品、学校論文8品の出品があり、研究の成果を得た。					
			1,324	1,424	1,427	1,250

ア②熊本県教育厅と連携した研修の充実		期 間	令和2年 ~ 終期未定			
概要	①「熊本の学び」ステップ・アップ研修を実施し、授業力向上を図る。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
令和4年度の取組内容	令和4年度「熊本の学び」ステップ・アップ研修を町内の1中学校、3小学校で行い、各学校の実態や研究テーマに沿った内容で研修を行った。その中では授業研究会で「授業改善」に関する助言や主体的に学習に取り組む集団づくりについての演習等を行った。					
				0	0	0

イ③小学校教科担任制の実施に向けた取組の推進		期 間	令和2年 ～ 終期未定			
概要	担当教科の教材研究を深めることで、より授業の質の向上を提供するとともに、学力の学級間格差をなくし、ひいては、中学校との円滑な接続を行うことで、児童の学力の向上を目指すことを目的とする。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
令和4年度の取組内容	令和4年度では、教務主任会を中心に情報交換を行いながら取り組んだ。また、教科担任制での授業を受けた児童へのアンケートを行い、児童の意見を取り入れながら授業改善に取り組んだ。			105	0	0

イ④少人数指導・習熟度別指導による、個別最適な学びの推進		期 間	～			
概要	少人数指導・習熟度別指導を行うことで、児童生徒によりきめ細やかな指導を行うことで、児童生徒の学力の向上を目指すことを目的とする。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
令和4年度の取組内容	少人数加配がある学校において、小学校では算数、中学校では数学、英語の少人数指導・習熟度別指導を実施した。		0	0	0	0

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	県学力調査においては、小3の算数及び小5の算数を除くほぼ全ての教科において、県の平均を超えた。また、全国平均と比較して、目標を達成している教科は14教科中10教科となった。今後目標を達成するためには、児童生徒が課題意識持ち、主体的に学習するための授業改善を行うと共に、「陽光(さん)と輝くみらいっ子マップ」に記載している家庭学習時間を基準にした家庭学習の充実を図り、自ら学ぶ力を向上するための手立てが必要である。
外部評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ●先生たちの研究意欲を向上させるためにも、積極的に教育論文を募集していただきたい。 ●教科担任制については、授業の質の向上やクラス間の格差を減らし、教職員の負担軽減にも繋がっていることから、今後もしっかりと進めていただきたい。 ●少人数指導や習熟度別指導については、本人の希望に合ったきめ細やかな指導を進めていただきたい。

事務事業評価表

整理番号	2
------	---

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 学務課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	①	子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実(P.8)
		エ	英語教育の一層の充実

【取組の達成状況】

指 標		令和4年度(実績)			評価	
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目 標	実 績	達成率		
自己評価	英検3級以上取得率(中学生)(P.9)	%	55	49.9	90.73%	A

A 達成できた(80~100%) B まあまあ達成できた(60~80%) C 半分程度達成できた(40~60%)
 D あまり達成できなかった(20~40%) E 達成できなかった(0~20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①実用英語技能検定(英検)受験料の補助		期 間	平成30年 ~			
概要	高度情報化、国際化社会に対応できる幅広い知識と有用な技術、能力を有する人材を育成することを目的とし、菊陽町立の小学6年生と中学2、3年生へ英検受験料を補助する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			1,815	1,686	4,082	4,090
令和4年度の取組内容	中学3年生の英検3級以上受験料2,152千円(455人)、中学2年生の英検4級以上受験料1,609千円(518人)を負担した。また、小学6年生は、英検Jr.の受験の機会を設け受験料329千円(470人)を負担した。					

②九州ルーテル学院大学との連携による英語活動の実施		期 間	平成22年 ~			
概要	小学校外国語活動に関して相互の機能を活用して実践的な連携協力を行い、教育の充実発展を目的としている。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			50	32	40	19
令和4年度の取組内容	連携協定を行っている九州ルーテル学院大学から、小学校英語活動のため補助として2名が37回、大学生ボランティアとして小学校へ派遣され、19千円を支出した。					

③外国語指導助手(ALT)とのチーム・ティーチングによる英語教育の充実		期 間	~			
概要	ALTを各小中学校へ派遣し、学校行事等における児童・生徒との交流や英語指導を行う。また、教員の外国語及び外国語活動に関する研修を行う。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			9,213	9,240	9,460	9,460
令和4年度の取組内容	各小中学校へALT2名を派遣し、児童生徒との交流や英語指導、英検対策等を行った。					

④中学生海外派遣事業の実施		期 間	平成8年 ~			
概要	オーストラリア国民との交流を深め、国際化時代に生きる人材を育成するため菊陽中学校、武蔵ヶ丘中学校の生徒を派遣する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			2,571	0	0	0
令和4年度の 取組内容	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、実施していないが、派遣先学校の先生とオンライン会議を実施し、令和5年度にオンラインでの児童生徒間の交流を実施する。					

⑤バッカスマーシュ・グラマー校生徒のホームステイ受入交流の実施		期 間	~			
概要	交流先であるオーストラリアのバッカスマーシュ・グラマー校生徒を迎え、菊陽町立小中学校の児童生徒と交流を行う。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			209	0	0	0
令和4年度の 取組内容	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、実施していない。					

【Check】 事業の評価【Action・Plan】 今後の方向

成果と課題	<p>令和4年度から小中学校の外国語指導担当者での研修会を行った。研修の中では、小中学校での学習のギャップをどのように改善していくのか検討し、小学校と中学校で授業研究会を行った。その中で、菊陽町で小中学校で子どもが「英語を好きになること」を目標に指導に当たることを確認することができた。</p> <p>英検3級以上の取得率は、県の目標値である40%を上回っているが、目標を達成するためには、教師の授業力向上を図るとともに、児童生徒が英語に触れる機会を増やし、生活の中での有用感を感じられるような環境づくりを行う必要がある。</p>
外部評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ●英検3級以上の取得率による成果は過去数年A判定であり、目標は達成しているので、経年的な達成率などを評価に記入していただきたい。 ●外国語指導助手(ALT)とのチームティーチングによる授業において、外国語指導助手によるネイティブの発音や会話をもっと生かした授業を進めていただきたい。 ●九州ルーテル学院大学の学生は、子どもに英語を指導できる資格のJ-SHINE(ジェイシャイン)を取得できるようになっているため、その資格を持つ学生を小学校の英語活動で活用していただきたい。

事務事業評価表

整理番号	3
------	---

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 学務課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	①	子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実(P.8)
		ウ	ICT教育の充実、企業や大学等と連携したプログラミング教育やキャリア教育の推進
		②	社会に開かれた教育課程の実現(P.9)
	ア	ICTの活用による家庭学習の充実	

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目標	実績	達成率	A
自己評価	教育情報化認定制度優良校数(P.9)	校	8	8	

A 達成できた(80~100%) B まあまあ達成できた(60~80%) C 半分程度達成できた(40~60%)
 D あまり達成できなかった(20~40%) E 達成できなかった(0~20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

ウ①ICT機器を活用した授業の充実		期間	令和 年 ~			
概要	電子黒板等のデジタル機器を整備し、国が推進するGIGAスクール構想と併せ、教育のICT化を図る。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			85,713	85,001	68,173	76,638
令和4年度の取組内容	児童生徒の増加に伴い増級した教室へ電子黒板(小学校5台、中学校4台)を追加整備した。					

ウ②誘致企業等と連携したプログラミング教育のワークショップ等の実施		期間	令和2年 ~			
概要	令和2年度から小学校・中学校と順次、プログラミング教育が必修化され、論理的思考回路を育むためプログラミング教育を推進する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			-	6,813	516	0
令和4年度の取組内容	令和2年度に整備したtoioを活用し、本町に立地するソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)熊本TECとの連携し、これまでオンライン実施だったプログラミング教育ワークショップを対面により実施した。					

③キャリアパスポートを活用したキャリア教育の推進		期間	~			
概要	児童生徒が行事や生活での節目にキャリアパスポートを活用し、自らの学習状況や活動内容を振り返り、自己評価を行う。このことを通して、自身によるキャリア形成を図り、自己実現に向け主体的に学ぶ力を育む。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			-	454	61	61
令和4年度の取組内容	年度初めに、キャリア教育担当者会を開催し、キャリア教育の必要性を確認するとともに計画的・継続的にキャリアパスポートを活用しながらキャリア教育を実施した。					

ア④タブレット端末を活用した持ち帰り学習とオンライン授業の実施		期 間	令和2年 ～			
概要	児童生徒一人1台タブレット端末と高速大容量の通信ネットワークを整備し、新型コロナウイルス感染症等の緊急時でも学びを保障できる環境を整備するとともに情報活用能力を育成する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			0	358,211	40,495	63,522
令和4年度の 取組内容	児童生徒の増加に伴い、タブレット端末(182台)及び収納保管庫(2台)を追加整備した。					

【Check】 事業の評価【Action・Plan】 今後の方向

成果と課題	<p>ICT機器の整備により、教職員では情報共有が容易になり、業務の効率化を進め、働き方改革につなげることができた。また、児童生徒の活用では、画像や動画をみることで紙だけでは伝わらない情報を視覚的、聴覚的に学習することができたことや学習支援ソフトを活用することで、児童生徒の協働的な学習場面を設定し、学び合う環境を整えることができた。</p> <p>また、教員の力量で児童・生徒の情報活用能力に差が生まれぬよう研修等を実施し、教える側の底上げや情報モラル教育の充実をさらに図る必要がある。</p>
外部評価委員の意見	<p>●キャリア教育の推進について、今後も積極的な活用を進めていただきたい。</p>

事務事業評価表

整理番号	4
------	---

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 施設整備課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	③	学校教育施設・設備の環境整備(P.9)
		イ	経年劣化に対応した計画的な大規模改修などの実施

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価	
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目標	実績	達成率		
自己評価	建物の大規模改修実施済施設数(P.10)	施設	3	2	66.67%	E

A 達成できた(80~100%) B まあまあ達成できた(60~80%) C 半分程度達成できた(40~60%)
 D あまり達成できなかった(20~40%) E 達成できなかった(0~20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①長寿命化計画に基づいた計画的な改修の実施		期 間	令和2年 ~ 終期未定			
概要	菊陽町の学校施設は、昭和49年から平成2年にかけて多くの校舎が建設され、これらの施設が一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せている。長寿命化改修や改築は、多大な費用を要する上、改修時期が重なる施設が多いことから事業量及び事業費の平準化を図る必要があることから計画的な改修を実施するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			290,348	0	0	0
令和4年度の取組内容	なし					

②武蔵ヶ丘北小学校大規模改修		期 間	令和5年 ~ 令和10年			
概要	武蔵ヶ丘北小学校は、建設から34年が経過し、大規模改修工事が必要な時期となっていることから、長寿命化計画に基づき大規模改修工事を実施するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			0	0	0	0
令和4年度の取組内容	なし					

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	<p>武蔵ヶ丘小学校、菊陽中部小学校及び菊陽中学校は、耐震対策の実施と共に大規模改修を実施した。また、菊陽北小学校は、平成30年度から令和2年度にかけて大規模改修工事を実施している。</p> <p>未改修の学校では、老朽化が進んでおり大規模改修が急がれるが、菊陽町は、児童、生徒数が未だ増加している学校があり、その対策を優先せざるを得ないため、大規模改修の時期が先延ばしになっている。</p>
外部評価委員の意見	<p>●令和4年度の評価としては、継続事業でもあるため、E判定となっているが、計画的に進められており、成果としては良好である。</p>

事務事業評価表

整理番号	5
------	---

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 施設整備課		
取組方針	基本施策	1	学校教育の充実
	具体的な取り組み事項	③	学校教育施設・設備の環境整備(P.9)
		ウ	給食のあり方を含めた給食調理場の改修・機能強化

【取組の達成状況】

指 標		令和4年度(実績)			評価
成果指標（事業の目的の成果を測る指標）	単位	目 標	実 績	達成率	
自己評価	給食室のドライ方式調理場数(P.10)	施設	7	4	57%

A 達成できた(80~100%) B まあまあ達成できた(60~80%) C 半分程度達成できた(40~60%)
 D あまり達成できなかった(20~40%) E 達成できなかった(0~20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①長寿命化計画に基づいた計画的なドライ方式への改修の実施		期 間	令和1年 ~			
概要	菊陽町の全8校のうち菊陽中部小学校、菊陽西小学校、菊陽中学校及び武蔵ヶ丘中学校の4校については、改修、改築が完了しており、学校給食衛生管理基準に適合したドライシステムの調理場となっている。残りの未改修の4校について、計画的に給食室の改修または改築を実施するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			554	56,849	304,062	159,346
令和4年度の取組内容	武蔵ヶ丘北小学校給食室の設計業務					

②菊陽北小学校給食室新築工事		期 間	令和1年 ~ 令和5年			
概要	菊陽北小学校の給食室は、調理能力を遥かに超えている状況であり、今後も更に食数が増加する見込みであることから、学校給食衛生管理基準に適合したドライシステムの給食室を整備するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			296	21,132	242,677	156,743
令和4年度の取組内容	工事を着手し、令和5年度へ繰越し、令和5年5月末に完成。					

③武蔵ヶ丘北小学校給食室改築工事		期 間	令和1年 ~ 令和6年			
概要	武蔵ヶ丘北小学校の給食室は、昭和60年に建設され、施設の老朽化が著しい状況である。併せて学級数の増加により配膳スペースが不足していることから、学校給食衛生基準に適合したドライシステムの給食室を整備するもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			258	35,717	61,385	2,603
令和4年度の取組内容	設計に着手し、令和5年度へ繰越し、令和5年7月末に完了。					

④武蔵ヶ丘小学校給食室改築工事		期 間	令和5年 ～ 令和6年			
概要	武蔵ヶ丘小学校の給食室は、平成26年度に耐震診断を行ったところ耐震不足で耐震補強改修を行うと改修後の調理場の動線に支障をきたすため、改築が適当であるとの診断結果を受け、平成27年度に仮設給食室を整備しており、その後、常設給食室設計、建設する計画であったが、教室不足の対応を優先せざるを得ず計画が先延ばしになっている。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			0	0	0	0
令和4年度の 取組内容	なし					

【Check】 事業の評価【Action・Plan】 今後の方向

成果と課題	<p>全8校のうち菊陽中部小学校、菊陽西小学校、菊陽中学校及び武蔵ヶ丘中学校の4校については、改修、改築が完了しており、学校給食衛生管理基準に適合したドライシステムの給食室を整備している。</p> <p>令和3年度から菊陽北小学校の給食室の設計を開始し、令和4年度は、武蔵ヶ丘北小学校給食室の設計に取り組んだ。</p> <p>今後のスケジュールとしては、令和4年度に建設に着手した菊陽北小学校は、令和5年5月に完成。武蔵ヶ丘北小学校が令和4年度設計開始、令和6年度建設。武蔵ヶ丘小学校が令和5年度設計、令和6年度建設を計画しており、教育施設の環境整備に向け着実に取り組みを進めている。</p>
外部評価委員の意見	<p>●作業動線や機械の整備については、調理職員から要望や意見を聞きながら、使い勝手の良い施設の整備を進めていただきたい。</p>

事務事業評価表

整理番号	6
------	---

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 中央公民館(生涯学習課)		
取組方針	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの充実
	具体的な取組事項	①	生涯学習の推進 (P.10)
		ア	町民のニーズに沿った主催講座の実施

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価	
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目標	実績	達成率		
自己評価	自主講座の生徒数 (P.10)	人	1,930	1481	77%	C

A 達成できた(100%以上) B まあまあ達成できた(~80%) C 半分程度達成できた(~60%)
 D あまり達成できなかった(~40%) E 達成できなかった(~0%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①各町民センターによる年間を通じた主催講座の実施		期間	平成30年 ~			
概要	中央公民館、武蔵ヶ丘コミュニティセンター、南部町民センター、ふれあいの森研修センターでは、生涯学習を推進し、青少年の健全な育成を図り、地域住民の交流活動の促進と地域の活性化を目的として主催講座を実施する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			1,730	1,470	1,850	2,465
令和4年度の取組内容	健康づくりやものづくり、体験活動、伝統文化活動などを開催。中央公民館17講座(全164回)、武蔵ヶ丘コミュニティセンター8講座(全58回)、南部町民センター12講座(全141回)、ふれあいの森研修センター19講座(全130回)を実施し、講師謝金2,465千円を支出した。					

②各町民センターの各種講座を募集する「講座案内」の全戸配布		期間	平成30年 ~			
概要	各町民センターの講座募集記事を集約した講座案内の冊子を発行し、3月末に全世帯に配布。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			907	937	954	1,050
令和4年度の取組内容	講座案内冊子19,900部を発行し、1,050千円を支出した。子どもから高齢者まで幅広い世代に周知するため町HPと町ラインにも掲載し、参加率の向上を図った。					

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	令和4年度では、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、各センターにおいて縮小(午前中のみ実施)し、各センター祭も開催され、ステージ発表や作品の展示発表の場もあり、少しずつ戻りつつある状況ではあった。自主講座の講座生も増加傾向にあるようです。主催講座開講率は92.30%で、前年度の開講率90.24%を上回り、幅広く生涯学習を推進できた。今後も、主催講座から自主的に活動する自主講座に移行してもらえるよう働きかけを行う。また、講座受講生が地域や学校でのボランティア活動等に参加し、趣味や特技を社会に活かしているという実感、生きがいづくりをさらに充実させるため、地域学校協働活動につながるような仕組みづくりを検討したい。
外部評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ●英語や中国語の語学講座、国際交流、文化交流に応じた講座を検討していただきたい。 ●台湾の子どもやその家族が交流できる場を企画していただきたい。

事務事業評価表

整理番号	7
------	---

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 生涯学習課		
取組方針	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの充実
	具体的な取り組み事項	③	健やかな青少年の育成(P.11)
		イ	地域学校協働活動の充実

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価	
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目標	実績	達成率		
自己評価	地域学校協働活動ボランティア延べ人数(P.11)	人	7,000	12,248	175%	A

A 達成できた(80~100%) B まあまあ達成できた(60~80%) C 半分程度達成できた(40~60%)
 D あまり達成できなかった(20~40%) E 達成できなかった(0~20%)

【Plan】 事業の計画と概要 【Do】実績

①地域学校協働活動推進員の設置		期間	平成20年 ~ 終期未定			
概要	学校と地域を結ぶコーディネーターとして、事業の取りまとめを行う統括地域学校協働活動推進員1名、菊陽中校区地域学校協働活動推進員1名、武蔵ヶ丘中校区地域学校協働活動推進員1名を配置し、学校と地域の協働活動を推進する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			1,654	3,366	3,511	3,668
令和4年度の取組内容	新型コロナウイルスの影響が懸念されたが、感染対策などの工夫をしながら地域と学校が協力できるよう地域学校協働活動推進員がコーディネートし、登下校安全指導、読み聞かせ、学習支援など様々な活動を実施することができた。					

②地域未来塾及び放課後子供教室の実施		期間	平成28年 ~ 終期未定			
概要	①地域未来塾は幅広い地域の協力を得て、家庭での学習が困難な中学3年生へ学習機会を提供し、学力及び地域教育力の向上を図る。 ②放課後子供教室は令和4年度から小学校6校の体育館を活用しスポーツやその他の体験活動を実施。安心安全な放課後の居場所づくりと心豊かでたくましい子供の育成を推進。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			757	977	889	4,639
令和4年度の取組内容	①学習支援員を9名委嘱し、数学・英語の授業を7月末から2月末まで菊陽中学校45日、武蔵ヶ丘中学校46日実施した。参加者は、菊陽中学校8名、武蔵ヶ丘中学校7名であった。 ②低学年を対象にスポーツを中心に伝承遊びなどの体験活動を実施。各小学校5月から2月まで27回程度、全体で161回実施した。					

【Check】 事業の評価【Action・Plan】 今後の方向

成果と課題	令和4年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの影響により行事等が中止となることがあったが、学校、地域及び推進員が知恵を出し合い、感染拡大防止対策を実施しながら様々な活動を実施したことで、想定を大きく上回る延べ12,248人のボランティアの参加があり、令和3年度から2,164人増となった。ボランティア活動分野で参加が多いものとしては、登下校安全指導10,378人、読み聞かせ652人、総合的な学習の時間572人であった。引き続き新規ボランティアの募集を行い、地域学校協働活動推進員がコーディネートを実施することで、学校を核とした地域づくりを推進したい。
外部評価委員の意見	●推進員の活躍もあり、地域学校協働活動が大変充実している。今後も取り組みを継続していくために、各学校に推進員を1名配置するなど、継続的な人材確保に努めていただきたい。

事務事業評価表

整理番号	8
------	---

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 生涯学習課		
取組方針	基本施策	3	文化・芸術の振興
	具体的な取組事項	②	文化ボランティアなどの人材育成 (P.11)
		ア	文化活動をする個人や団体の発掘・支援
		③	文化財や伝統文化の保護・保存・活用 (P.12)
		ウ	文化財マップやパンフレットなどの作成

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)		単位	目標	実績	達成率
自己評価	菊陽町文化財ボランティアガイドの案内者数(P.12)	人	2,600	1,574	61%
C					

A 達成できた(100%以上) B まあまあ達成できた(~80%) C 半分程度達成できた(~60%)
 D あまり達成できなかった(~40%) E 達成できなかった(~0%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

ア①文化財ボランティアガイドへの補助金の交付		期間	平成22年度 ~			
概要	馬場楠井手の鼻ぐりを中心に町の歴史・文化について案内をする菊陽町文化財ボランティアガイドの会に対し補助を行う。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			100	100	100	100
令和4年度の取組内容	令和4年度の菊陽町ボランティアガイドの会会員は23名。会員の傷害保険や研修会にかかる経費等への補助として、100千円を交付した。					

ウ②鼻ぐり井手パンフレットの作成		期間	年 ~			
概要	我が町が誇る県指定史跡「馬場楠井手の鼻ぐり」のパンフレット等文化財を案内するための印刷物の作成を行う。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			550	0	121	0
令和4年度の取組内容	令和3年度印刷し在庫が十分なため令和4年度は印刷を行っていない。現在、英語、韓国語、中国語(簡体字)のパンフレットを作成済み。					

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛していた土日祝日に鼻ぐり井手訪問者を案内をする活動を再開し、案内依頼団体も増加したことから案内者数が令和3年度から1,163人増加し1,574人となった。 ガイドの会会員の平均年齢が75歳以上と高齢であるため、今後はガイド養成講座等を活用し会員の確保と育成が必要と考えられる。 また、パンフレットについては令和3年度増刷を行ったことで滞りなく配布することが出来た。今後は中国語(繁体字)のパンフレット作成についても検討が必要。
外部評価委員の意見	●文化財ボランティアガイドのなり手不足の課題については、現地の動画やガイドの説明が観れるようにQRコードの活用を検討していただきたい。また、外国人が理解できるように、日本語だけでなく、英語や中国語等の表記も検討していただきたい。

事務事業評価表

整理番号	9
------	---

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 生涯学習課(スポーツ振興課)		
取組方針	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの充実
	具体的な取り組み事項	②	生涯スポーツの推進(P10)
		イ	健康増進を目的とした主催講座の実施や運動・生涯スポーツ活動への支援

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価	
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目標	実績	達成率		
自己評価	体育施設利用者数の増加(P.10)	人	195,000	217,938	112%	A

A 達成できた(80~100%) B まあまあ達成できた(60~80%) C 半分程度達成できた(40~60%)
 D あまり達成できなかった(20~40%) E 達成できなかった(0~20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①健康・福祉部門との連携による健康づくりの推進		期 間	~			
概要	一般向けの講座については、誰にでも手軽にでき、家庭でも応用できる運動をコンセプトに開講。また、「きくよう健康倶楽部」のポイントが付与できる講座を設け、同倶楽部の普及に努めている。小学生向けの講座については、キッズスポーツ講座を開講	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			1,290	1,498	1,526	1,549
令和4年度の取組内容	一般向け講座6講座、小学生向け講座3講座を開催					

②スポーツ推進委員を活用したイベントの開催		期 間	~			
概要	町内で開催される各種スポーツ大会での審判や運営協力、出前講座やイベント等でのニュースポーツの普及などにスポーツ推進委員を活用する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			1,455	925	971	1,265
令和4年度の取組内容	7月:子ども会アジャタ大会審判 10月:子ども会モルック大会審判 中部小学校地域ふれあい交流活動					

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	【成果】 体育施設においては、町民体育館、町民グラウンド並びに学校体育館及びグラウンドなどで延べ217,938人の利用があり、多くの町民にスポーツ機会を創出することができた。
	【課題】 一方で、町民のスポーツ実施率については、その実数を把握できていない。このため、年齢層(ライフステージ)に応じたスポーツ機会の創出まで至っていない。
外部評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ等で全国大会や九州大会に出場する子どもたちの活躍を、きくよう広報やSNS等で紹介するなど、幅広く町民に周知していただきたい。 ●全国大会や九州大会へ出場する際は、町長からの激励金の授与や垂れ幕の設置など、激励のやり方を工夫することで町を挙げて応援されている気持ちになり、そのことがモチベーションに繋がりと、感謝の気持ちを学ぶことができる。

事務事業評価表

整理番号	10
------	----

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 図書館		
取組方針	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの充実
	具体的な取り組み事項	①	生涯学習の推進(P.10)
		ウ	中央公民館、町民センター、図書館などの運営の充実

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価	
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)(P.10)	単位	目標	実績	達成率		
自己評価	図書館の年間図書貸出冊数	冊	230,000	221,644	96%	A

A 達成できた(80~100%) B まあまあ達成できた(60~80%) C 半分程度達成できた(40~60%)
 D あまり達成できなかった(20~40%) E 達成できなかった(0~20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

③町民の「学び 暮らし 仕事」を支える図書館サービスの提供		期間	H15年 ~			
概要	図書館において、町民の読書推進を図るとともに、地域の良きパートナーとして、町民の「学び 暮らし 仕事」を支えるための情報の収集や発信を行うことで、町民の心豊かな生活を支援するため、常に時代のニーズに応じた新しい情報や図書資料を購入し提供する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			9,073	9,963	9,116	9,184
令和4年度の取組内容	新たに4,382点の図書資料を購入し、利用者に提供するとともに、経年により内容が現在にそぐわない図書資料など4,193点をリサイクル等にて廃棄処分を行った。					

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	<p>図書館の蔵書については、読書推進の役割に加えて、町民の「学び 暮らし 仕事」を支えるための指針となるべき重要な役割があり、住民ニーズや時代の変化に応じた選書を実践してきた。限りある予算や収容可能蔵書数の中で、利用状況等を精査し、特に廃棄やリサイクル等を有効に活用しながら的確な新書更新を進めてきた。その効果を図るため、貸出冊数やレファレンス(相談)件数を指標に加えている。人々の行動が家庭内から家庭外へと、やや活発になったことにより、図書館の貸出数はやや減少したが、概ねその目標を達成できたと総括している。</p>
外部評価委員の意見	<p>●図書と音楽、図書とスポーツなど、様々なジャンルとの融合による企画や若者が興味関心を持つようなデジタルを活用した企画を検討していただきたい。</p>

事務事業評価表

整理番号	11
------	----

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 図書館		
取組方針	基本施策	3	文化・芸術の振興
	具体的な取り組み事項	①	文化・芸術活動の支援と触れる機会の確保(P.11)
		ア	図書館ホール自主文化事業やアウトリーチ活動等による芸術に触れる機会の充実

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価	
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目標	実績	達成率		
自己評価	アウトリーチ体験者数(事業開始時からの累計)(P.11)	人	7,000	4,691	67%	B

A 達成できた(80~100%) B まあまあ達成できた(60~80%) C 半分程度達成できた(40~60%)
 D あまり達成できなかった(20~40%) E 達成できなかった(0~20%)

【Plan】事業の計画と概要 【Do】実績

①「みんなでできよう♪コンサート」「芸術文化公演」の実施		期間	平成23年 ~			
概要	図書館ホールの事業を通じて、町民の芸術文化に対する気運を高めるとともに、一流の「芸術文化を町民に鑑賞・体感していただく場を提供する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			2,130	0	0	1,399
令和4年度の取組内容	・第10回みんなでできよう♪コンサート「絵本DEクラシック プレーメンの音楽隊」(10月16日:来場者457名) ・芸術文化公演「和楽器演奏集団 独楽」(1月14日:来場者261名)					

②アウトリーチ活動による一流の芸術文化を体験できる場の提供		期間	平成23年 ~	終期未定		
概要	プロの演奏家の音楽を身近に体感してもらい、一流の音楽の鑑賞と創造性を養うことを体験する場を提供する。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			355	445	0	465
令和4年度の取組内容	町内全小学校6年生(菊陽南小学校のみ5・6年生)457人を対象に、のべ13回実施。					

【Check】事業の評価【Action・Plan】今後の方向

成果と課題	自主文化事業については新型コロナの影響から2年間未実施が続いたが、令和4年度は感染症対策を講じながら2公演を実施した。両公演ともに音楽コンサート主体となったが、タイプの違った公演を実施したことで来場者の客層にも違いがあり、より多くの町民に鑑賞いただけたと思う。また、両事業とも(公財)熊本県立劇場の事業を活用したことにより、財政面や事業運営等の支援を得ることができた。アウトリーチ事業については前年度未実施だったが、今年度は6年生を中心に全小学校で実施することができた。今後は、開館20年を経過し各設備等の改修が想定されることもあり、自主事業の年2回開催が厳しい状況でもあるので、貸館運営とのバランスをとりながらより質の高い芸術文化事業に取り組んでいきたい。
外部評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ●プロの演奏を生で聴くことは、多くの人に感動を体験する機会となり、とても素晴らしい経験となるので、今後もアウトリーチ事業を是非進めていただきたい。 ●中学校の部活動地域移行について、スポーツだけでなく、図書館やホールなどを利用して、地域指導者による文化芸術の育成にも取り組んでいただきたい。 ●多くの方に参加していただけるよう、図書館と総合体育館を上手に活用した企画を検討していただきたい。 ●学校教育と図書館の連携した取り組みとして、ビブリオバトルなどを開催して、本を読むきっかけづくりをしていただきたい。

事務事業評価表

整理番号	12
------	----

評価対象年度	令和4年度		
担当課名称	教育委員会 人権教育・啓発課		
取組方針	基本施策	4	人権尊重の社会づくりの推進 (P.12)
	具体的な取組事項	①	人権教育・啓発の推進
		ア	人権教育・啓発イベントの実施
		ウ	各種団体、企業等に対する研修会の実施及び支援
		エ	指導者養成のための研修会の実施
		オ	就学前、学校教育における人権教育の推進

【取組の達成状況】

指標		令和4年度(実績)			評価	
成果指標 (事業の目的の成果を測る指標)	単位	目標	実績	達成率		
自己評価	「人権のまち菊陽フェスタ」参加者数	人	375	149	40%	D
自己評価	「人権のまち菊陽フェスタ」に参加して、人権問題についての関心・理解が深まったと感じた割合	人	375	149	40%	

A 達成できた(100%以上) B まあまあ達成できた(~80%) C 半分程度達成できた(~60%)
 D あまり達成できなかった(~40%) E 達成できなかった(~0%)

【Plan】 事業の計画と概要 【Do】実績

ア①人権のまち菊陽フェスタの実施		期間	平成12年 ~ 以前			
概要	人権を尊重する社会づくりを目指して、町民等を対象に、講演会やコンサート、劇といった様々な表現活動を通して、人権啓発を行うもの。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			362	0	0	329
令和4年度の取組内容	2011年に菊陽町人権の歌「こころ」を制作されたシンガーソングライターのちひろさんによるオープニングコンサートを行い、そのあと近畿大学名誉教授奥田均さんに「部落差別のからくり」と題し、講演会を行いました。					

ア②菊陽町人権子ども集会の実施		期間	平成12年 ~ 以前			
概要	町内の児童生徒が一堂に会し、各学校の活動の発表や展示をすることにより、自分の周りにおける差別に向き合い、差別を許さない仲間づくりを推進する事業。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			398	0	0	116
令和4年度の取組内容	子どもたちによる実行委員会を設置し、児童生徒の自主的な企画運営のもと、人権問題に関する研究を実施した。					

ウ③町内企業を対象とした研修会の実施		期間	平成12年 ~ 以前			
概要	人権研修を通して、町内企業の人権擁護の意識を高め、明るく働きやすい職場づくりや、公正な選考、採用による就職機会均等の推進を図るための事業。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			35	35	35	35
令和4年度の取組内容	町内企業への出前講座の実施や、人権問題に関する企業内研修への町としての支援体制の町ホームページへの掲載、町商工会加盟企業に対する菊陽町同和問題を考える企業連絡会への加入促進活動を実施。					

エ④行政職員を対象にした研修の実施		期 間	平成12年 以前 ~			
概要	菊陽町職員として人権を大切にする資質を磨き、部落差別(同和問題)をはじめあらゆる差別に対する基本的認識を培い、人権教育・啓発活動のリーダーとしての自覚を持つ行政職員を育むことを目的とした事業。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			0	0	0	0
令和4年度の 取組内容	全職員を対象に、2回分けて講師に、関西大学名誉教授 石元 清英さん「部落問題に現状と人権教育・啓発の課題」と演題での講演DVDの視聴形式で実施 令和3年度から始めたフィールドワークを昨年度参加できていなかった職員・令和4年度採用職員を対象に実施。					

オ⑤教育集会所での学習会の実施		期 間	平成12年 以前 ~			
概要	教育集会所を拠点とした、部落差別をはじめあらゆる差別を解消するための学習会、講座等の運営	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			3,007	2,332	2,109	2,557
令和4年度の 取組内容	人権問題や通常教科等の学習を年間通して実施。					

オ⑥多文化共生学習会の実施		期 間	平成12年 以前 ~			
概要	武蔵ヶ丘小学校、武蔵ヶ丘中学校を中心に、外国にルーツを持つ子どもに対しての日本語学習、教科学習、地域交流、文化交流を通して、共に支え合い、共に生きていくための多文化共生学習会。	事業費 (決算額) 単位:千円	R1	R2	R3	R4
			677	468	653	972
令和4年度の 取組内容	日本語学習、通常教科、人権問題等の学習を年間を通して実施。					

【Check】 事業の評価【Action・Plan】 今後の方向

成果と課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、菊陽フェスタは開催することができた。また、町人権子ども集会については、昨年同様にがりリモート開催となった。集会所学習会等の開催については、ほぼ計画どおり実施することができた。このようなことから菊陽フェスタへの参加者が目標より大きく下回っているものの、差別のないまちづくりに向けての取組は、進められたのではないかと、思われる。</p> <p>課題としては、人権尊重の社会づくりの推進という大きな課題があるが、町民の人権問題に対する意識の高揚を図るためには、人権問題に関心を持ってもらうためのきっかけづくりが必要だと考える。</p> <p>そのきっかけづくりとして、人権問題に関する社会情勢を考慮した、研修会や講演会等を計画することによって多くの方に参加していただき、関心を持って頂けるのではないかと考える。</p>
外部評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ●きくよう広報に人権学習の様子が掲載されており、身近な広報誌による啓発は大変有効であり、成果として挙げて、今後も継続して行っていただきたい。 ●武蔵ヶ丘小学校・武蔵ヶ丘中学校を中心に開催している多文化共生学習会は、大変良い取り組みであるので、他の学校にも取り組みを広げていただきたい。

6 菊陽町教育委員会外部評価委員会委員名簿

(敬称略)

役職	氏名	区分	備考
委員長	益田 亮英	学識経験者	学校運営協議会委員・元大学教授
副委員長	池田 幸春	学識経験者	熊本県立菊池少年自然の家所長
委員長	赤星 隆弘	学識経験者	前熊本県立高等学校校長
委員	村松 陽子	元教育委員	元教育委員

7 菊陽町教育委員会外部評価委員会開催状況

① 令和5年10月13日（金）

教育委員会の状況、活動状況及び事務事業の説明

② 令和5年11月7日（火）

事務事業点検・評価の意見まとめ